



決算に見合う一時金の支給を求める！

夏季手当



満額獲得するぞ①

低額春闘を忘れず、決算に見合うボーナスを勝ち取ろう

4月28日に昨年度の決算が出ました。合わせて夏季手当の交渉が本格化してきます。関心を持って本部交渉団を支えていきましょう。決算については次号から掲載しますが、「増収増益で営業収益・運輸収入は5期連続の増収かつ過去最高」でした！

東日本ユニオンは、夏季手当の要求を本部申6号としてすでに申し入れていきます。経営側は、決算が出るまで交渉も回答も示していません。ということは、決算を見て判断するということであり、予想通り好調な決算であったことから、当然それに合わせて昨年度よりも大幅なUPをして回答してくるということなのでしょう。

どんな回答が示されるのか注目しましょう。

2017春闘は、一律「1,000円のベア」でした。ここ数年の業績を見れば、かなり低額に抑えられたと言えます。そして、ベアを低額に抑え、年度が変わるや「管理手当等の増額」という提案がされました。そうすると「過去最高の格差」が生まれる春闘と言えます。

私たちは、全社員の利益となるボーナスの満額回答を強く求めます！

東日本ユニオン要求要旨

1. 2017年度夏季手当は「基準内賃金の3.2ヶ月分」とし、
6月23日までに支払うこと。
2. 55歳以上の社員（2017年6月1日現在）に、一律5万円の加算をすること。
3. エルダー社員の精勤手当に、一律5万円の加算をすること。
4. グリーンスタッフの精勤手当に、一律5万円を加算すること。

満額獲得に向け、職場からたたかきを作り出そう！